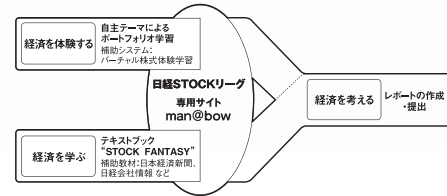


第9回 日経STOCKリーグ

生きた経済にふれた、全国7,449名の若者たち。

日本の将来を担う若者たちが、生きた経済に触れ、学び、考えていく。日本経済新聞社では、中学生から大学生までを対象とした株式学習コンテスト「第9回 日経STOCKリーグ」を、昨年開催。全国より1,893チーム、7,449名が参加しました。日経STOCKリーグに参加した若者たちは、インターネットを活用した「バーチャル株式の体験学習」や各自の投資テーマに沿ったポートフォリオづくりなどを通して、実際の経済の動きを体験し、金融の仕組みを学んでいきました。この体験をもとに

つくられた力作レポートを、審査委員会が審査し各賞を決定。3月14日に丸ビルホールにて、表彰式と記念シンポジウムが開催されました。教科書のなかの知識だけでは得ることのできない、生きた経済に触れ、自ら学び、考え、未来に向けて力強い一歩を踏み出した若者が、すでに約6万名。今回もたくさんの若者が日経STOCKリーグをきっかけに、「経済」という新しい視点を持ち、日本の進むべき道を見つけてくれたはず。



最優秀賞
チーム全員を
米国研修旅行に
ご招待

**金融担当
大臣賞**

MADE IN JAPANが世界を救う!

～今こそ日本のよさをアピールする時～

鹿児島大学教育学部
附属中学校2・3年

メンバー: 櫻井 芳野さん、酒匂 隆幸さん、酒匂 美貴子さん
担当教諭: 大迫 朋則氏



審査委員長講評
吉野直行氏

慶應義塾大学経済学部教授

この論文は、合計1,361本の応募論文の中から、視点がよく、内容もしっかりとした分析として、もっとも高い評価が審査員からなされた。

まず、最近忘れられている「日本のよさ」に着目して16社を選び、日本の企業の特徴、海外における日本の企業の評価、企業のビジョンなど、いくつかの軸を設けて企業を見ようとする視点は素晴らしい。外国人の持ち株比率、設備投資、研究開発、決算書を読み込み、それぞれの企業の数年間のデータを比較し、同一企業の過去と現在を調べている。さらに、企業間の比較を行い、企業のやる気、設備投資・研究開発費で測っている。中学生で、ここまで深い分析ができるのかと思うほどの内容である。また、それぞれの会社の創業者とビジョンまで歴史的に調べて、会社の将来を考えて投資をしている点は、高く評価できる。また、書かれている文書もうまい表現が使われており、読みやすい論文である。

表彰式の後の発表においても、落ち着いて、中学生とは思えないほどの立派な研究成果の報告がなされた。

日経STOCKリーグに参加して
鹿児島大学教育学部附属中学校3年 櫻井芳野

きっかけは父でした。大学で社会学を教えている父の学生さんが日経STOCKリーグに参加していました。家には日本経済新聞、日経ビジネスや経済の本がありました。父の話も聞いてうちに、いつか私も挑戦してみたいと思いました。人間を幸福にする経済とはどんなものか知りたかったからです。

中学1年生になったとき、友達を誘って、経済の勉強をゼロから始めました。週に1度集まり、母に先生になってもらい、学習を進めました。わからないことがあると、父は私にもわかるように説明してくれました。確かでないことはインターネットで一緒に調べてくれました。鹿児島の日本銀行や野村證券、企業など、このような機会がなければ行くこともなかったところに行くことができました。

中学1年生の時、「自分の身は自分で守り隊～安全・防犯に貢献する企業に投資する～」で、中学2年生の時、「ひと粒の大豆から世界へ! 大豆ひと粒見てみれば～大豆関連企業に投資する～」で、取組賞をいただき

ました。そして今年、最優秀賞をいただきました。今回のテーマは、日本のよさについてもっと知りたいと思って決めました。米国ボストンにいたとき、「私たち日本人は日本の素晴らしいところをもっとアピールできたら」と強く感じたからです。米国の学校では日本のテストに相当するクイズもありますが、正解のない問題も多くあります。日経STOCKリーグで作成するレポートのようなもの1カ月に1度は作りました。たとえば、中世のお城を設計図から起こして作り直しました。よい支配者の選挙広告を作りました。自分の会社を作り、プレゼンテーションし、売り込みました。どんな教科でも、基本は調べて、レポートを書いて、発表します。米国で習ったことは今回のレポートでもとても役に立ちました。さらに、2年間、日経STOCKリーグで学んできたことも役に立ちました。

企業を見るとき投資家の多くはPER、PBR、配当利回り、自己資本比率、ROEなどを参考にしますが、それ以外にどんな方法で企業を見ることができると考えました。それで、企業を現在(外国人持ち株比率)、過去(決算書・創業者のビジョン)、未来(設備

投資・研究開発)という形で見ていくことに決めました。外国人持ち株比率は世界から日本の企業を見るという視点から、決算書に注目したのは、浪井真帆さんの講演でヒントをもらったからです。数字には必ず意味があることもわかりました。創業者には必ず成功の協力者がいるなど、それぞれとてもおもしろく感じました。レポートに書ききれなかったのが残念です。またグループでレポートを仕上げたのは、オーケストラでひとつの音楽を作っていくのに似ていてとても楽しかったです。

2008年前半までは好調だった日本経済ですが、世界同時不況が起こりました。私たちがも動揺しました。しかし学ぶことも大きかったです。日本は必ず本来の姿に戻ると信じています。私たちは今何でもできませんが、学び、経験するという自己投資をちゃんとして、将来、西郷隆盛の言葉にあるように、「良い種を蒔き、全力をつくして育てる」人になりたいです。

日経STOCKリーグに参加させていただき、その上素晴らしい賞をいただき本当にありがとうございました。

部門賞 中学部門
The Noise Busters
～投資で創る 静かな社会～

チーム全員をユニバーサル・スタジオ・ジャパンまたは東京ディズニーリゾートにご招待

本郷中学校3年

メンバー: 櫻井 幹生さん、石田 尊さん、小沢 陽さん、矢吹 崇明さん、石井 伸亮さん
担当教諭: 横山 省一氏

(中学部門は図書カード5万円分、高校・大学部門は賞金5万円)

- 岡山県立岡山盲学校 2・3年 / 「未来を創る太陽電池」太陽電池がエネルギー革命を起こす
- 立教池袋高等学校 2年 / PINCH-CHANCE-CHANGE!? ～百年に一度の大不況をバリュー投資で乗り越える～
- 茨城県立水戸商業高等学校 3年 / 明日への架け橋 再生医療
- 東京経済大学 2・3・4年 / 日本企業が超こす原子力「新」時代 ～世界に誇る日本の原子力技術～
- 慶應義塾大学 4年 / 娯楽ファンドのすすめ!

敢闘賞

(中学部門は図書カード3万円分、高校・大学部門は賞金3万円)

- 筑波大学附属高等学校 2年 / 濃黒の夜が暗ければ暗いほど、星は明るく輝き、未来への道を照らす
- 同志社大学 3年 / 京都式企業の可能性 ～古都に潜む底力～
- 同志社大学 3年 / サイコロ分析 ～行動ファイナンスによる株価分析～

**パフォー
マンス賞**

(賞金3万円) レポート提出チーム中で、自主テーマによるポートフォリオ学習(仮想株式投資権500万円を運用)の残高(2月1日時点)上位5チーム
●関西学院大学 / 6,313,510円 ●関西学院大学 / 6,188,831円 ●兵庫県立加古川東高等学校 / 6,100,154円
●岡山県立岡山盲学校 / 6,021,443円 ●国際基督教大学 / 5,932,391円

部門賞 高校部門
THE BEST PARTNER
～「ゆうえんち」から学んだ大切なこと～

賞金20万円

大分県立情報科学
高等学校3年

メンバー: 伊東 和樹さん、西藤 沙也加さん、矢野 鈴鹿さん
担当教諭: 衛藤 孝氏

部門賞 大学部門
恐慌を超える
～“否定する”企業たち～

賞金20万円

一橋大学3年

メンバー: 岡田 悠さん、西尾 和哉さん、藤山 敬史さん
担当教諭: 加賀谷 哲之氏

BSジャパン・日経CNBCで日経STOCKリーグの特別番組を放送!

経済で日本を学ぶ!世界を感じる! 日経STOCKリーグ2009

日経STOCKリーグに参加した学生たちの取引体験や、レポート作成風景を密着取材。経済というテーマに体当たりしていく彼らの姿に、日本経済の将来が見えてきます。

放送日時

BSジャパン: 4月24日(金) 19:00～19:55

日経CNBC: 4月28日(火) 20:30～21:30

5月3日(日) 11:00～11:55 (再放送)

5月5日(火・祝) 16:00～16:55 (再放送)

日経STOCKリーグの詳しい内容、受賞レポートの内容は、経済学習サイトman@bow(まぼ)でご覧いただけます。

<http://manabow.com/>

次は、君たちだ。 第10回日経STOCKリーグ 参加チーム募集開始

参加チームをサポートされる先生のための説明会を開催する予定です。(7月下旬) 開催日時、詳細などにつきましては、参加手続き終了後に直接ご案内いたします。

内容 中学生・高校生・大学生を対象にした「自主テーマによるポートフォリオ学習」および「レポートコンテスト」

参加期間 ①「自主テーマによるポートフォリオ学習」: 10月1日(木)～11月30日(月)
②「レポートコンテスト」の締め切り: 2010年1月8日(金)
※「バーチャル株式の体験学習」: チーム登録後～2010年3月下旬(任意参加)

参加資格 国内在住の中学生・高校生・大学生(短期大学生、専門学校・各種学校生含む)

参加申込方法 経済学習サイトman@bow(まぼ) <http://manabow.com/> からの申し込みとなります。

参加申込受付期間 第1次締め切り: 6月30日(火) / 第2次締め切り: 9月5日(土)

お問い合わせ 日経STOCKリーグ事務局
TEL: 03-3545-9823 E-mail: stockleague@info.email.ne.jp

※1チーム3～5名とし、チーム単位で申し込みください。同じ学校内であれば、チーム編成はクラス、クラブ、ゼミなど自由です。
※ご参加いただく際は必ずご指導いただく教諭(教員)をお付けください。

賞	
最優秀賞	全参加チームより1チーム チームメンバー全員を米国研修旅行にご招待
部門賞	中学部門・高校部門・大学部門より各1チーム、計3チーム [中学部門] ユニバーサル・スタジオ・ジャパンまたは東京ディズニーリゾートにご招待 [高校・大学部門] 賞金20万円
敢闘賞	中学・高校・大学部門から数チーム [中学部門] 図書カード5万円分 [高校・大学部門] 賞金5万円
審査委員特別賞	中学・高校・大学部門から数チーム [中学部門] 図書カード3万円分 [高校・大学部門] 賞金3万円 ※ [ポートフォリオ学習] に参加し、またレポートを提出したチーム全員に「参加賞状」を差し上げます。